

## 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について（3月分）

### （1）問い合わせ件数

平成17年3月1日～平成17年3月31日

118件

### （2）内訳

食品安全委員会関係	23件
食品健康影響評価関係	39件
食品安全基本法関係	0件
リスク管理一般関係 (うち食品表示に関するもの)	55件 ( 3件)
その他	1件

\*うちBSE関係 76件

### （3）問い合わせの多い質問等

#### 【食品安全委員会関係】

Q．用語集の改訂版が出ましたが、今回の改訂の趣旨と変更点などについて教えてください。

A．平成16年3月に「食品の安全性に関する用語集」を作成して以降、食品安全モニターや食の安全ダイヤルを通じて、様々なご意見・ご指摘をいただきました。

今回の改訂は、これらを踏まえ、関心の高い用語等を追加するとともに、図表の活用を含め、できるだけ分かりやすい表現への見直しに加えて、索引の追加や分類の見直しなどを行ったものです。

今後とも、お気づきの点などありましたら「食の安全ダイヤル」までご連絡ください。

#### 【食品健康影響評価関係】

Q．食品安全委員会がBSEの国内対策の見直しについて昨年10月に評価要請を受けて以降、これまで食品安全委員会においてどのような議論がされているのか教えてください。

A．食品安全委員会においては、我が国でBSEが確認されてから約3年の間に蓄積されたデータや科学的知見を収集・整理し、それらに基づき、日本におけるB

S E対策について議論を行い、昨年9月に「中間とりまとめ」として公表したところでは、

この「中間とりまとめ」を踏まえ、昨年10月には厚生労働省及び農林水産省から、

と畜場におけるB S E検査対象をすべての牛から21ヶ月齢以上の牛への変更

特定危険部位(S R M)の除去の徹底

飼料規制の実効性確保の強化

B S Eに関する調査研究の一層の推進

の4項目についての国内のB S E対策の見直しに関する評価要請(諮問)がありました。

プリオン専門調査会においては、諮問以降8回にわたって中立公正な立場から、科学的な議論を尽くした結果、去る3月28日の会合において、報告案が取りまとめられたところです。

本報告案においては、と畜場におけるB S E検査対象月齢を見直す場合については、その見直しにかかわらず、食肉の汚染度は「無視できる」～「非常に低い」と推定され、この結果から、検査月齢の線引きがもたらす人に対するリスクは、非常に低いレベルの増加にとどまるものと判断される、とされています。

なお、本報告案については、3月31日の食品安全委員会において報告され、広く国民からの意見・情報の募集を開始したところであり、4月27日までの4週間の募集期間が終了した後、食品安全委員会において再度審議することになります。

Q .これまでのプリオン専門調査会での審議は国内のB S E対策についての安全性評価でしたが、米国産牛肉に関する評価への対応について教えてください。

A . 米国産牛肉の輸入再開問題に関しては、評価要請を受けていない今の段階で、予断を持ってお答えすることはできませんが、いずれにしても、食品安全委員会としては従来どおり、食品健康影響評価については、中立公正な立場から科学的議論を尽くしてまいります。

Q .16頭目の感染牛が発見されましたが、これまでに日本で確認されたB S E感染牛について、月齢と品種など、その概要について教えてください。

A . 厚生労働省及び農林水産省からの報告によれば、3月27日までに確認されている日本でのB S E感染牛は、16頭で、月齢については、21、23、48、62、64、67、68、73、80、81、83、94、95、102、103、108ヶ月齢の牛が確認されており、

品種については、16頭すべてホルスタインとなっています。

詳細は、下記概要のほか、厚生労働省の牛海綿状脳症（BSE）等に関するQ & Aを参照してください。

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/0103/tp0308-1.html#22q2>)

## 我が国で確認されたBSE感染牛の概要 (2005年 3月27日現在)

	確認日	牛の種類	出生日	月齢	臨床症状	確認検査
1	2001年 9月 10日	乳牛	1996年 3月 26日	64 ヲ月	起立不能	WB+, IHC+, HP+
2	2001年 11月 21日	乳牛	1996年 4月 4日	67 ヲ月	所見なし	WB+, IHC+, HP-
3	2001年 12月 2日	乳牛	1996年 3月 26日	68 ヲ月	所見なし	WB+, IHC+, HP+
4	2002年 5月 13日	乳牛	1996年 3月 23日	73 ヲ月	左前肢神経麻痺、 起立困難	WB+, IHC+, HP+
5	2002年 8月 23日	乳牛	1995年 12月 5日	80 ヲ月	起立不能、股関節脱臼	WB+, IHC+, HP-
6	2003年 1月 20日	乳牛	1996年 2月 10日	83 ヲ月	起立障害	WB+, IHC+, HP+
7	2003年 1月 23日	乳牛	1996年 3月 28日	81 ヲ月	所見なし	WB+, IHC+, HP-
8	2003年 10月 6日	去勢牛	2001年 10月 13日	23 ヲ月	所見なし	WB+, IHC-, HP-
9	2003年 11月 4日	去勢牛	2002年 1月 13日	21 ヲ月	所見なし	WB+, IHC-, HP-
10	2004年 2月 22日	乳牛	1996年 3月 17日	95 ヲ月	起立困難、股関節脱臼	WB+, IHC+, HP+
11	2004年 3月 9日	乳牛	1996年 4月 8日	94 ヲ月	股関節脱臼(死亡牛)	WB+, IHC+, HP+
12	2004年 9月 13日	乳牛	1999年 7月 3日	62 ヲ月	所見なし	WB+, IHC+, HP+
13	2004年 9月 23日	乳牛	1996年 2月 18日	103 ヲ月	起立不能、股関節脱臼	WB+, IHC+, HP+
14	2004年 10月 14日	乳牛	2000年 10月 8日	48 ヲ月	窒息死(死亡牛)	WB+, IHC+, HP+
15	2005年 2月 26日	乳牛	1996年 8月 5日	102 ヲ月	所見なし(死亡牛)	WB+, IHC+, HP+
16	2005年 3月 27日	乳牛	1996年 3月 23日	108 ヲ月	所見なし	WB+, IHC+, HP+

「確認検査」欄は、各種検査（WB：ウェスタンブロット法による検査、IHC：免疫組織化学検査、HP：病理組織検査）の結果（+：陽性、-：陰性）を示したものの。